

20周年記念号

2024.1

第20号

# ふれあいの会

兵庫県在宅保健師の会 (平成14年9月設立)

会員数 156人 (令和5年8月1日現在)



## 会長あいさつ

兵庫県在宅保健師の会 会長 濱田 和子

新しい年は社会活動に制限もなく迎えることが出来、とてもうれしく思います。

平成14年9月3日兵庫県在宅保健師の会が設立され、平成15年5月29日の総会で会の愛称を「ふれあいの会」として活動を始め

ました。

令和5年10月20日、設立から20年経過し、兵庫県保健医療部健康増進課長 稲岡 由美子様、兵庫県国民健康保険団体連合会専務理事 福田 庸二様にもご臨席いただき、会員の皆様とともに、設立20周年記念事業を開催することが出来ました。本当にありがとうございました。

記念講演では、国民健康保険中央会保健事業担当専門幹 三好 ゆかり様に「保健事業を取巻く動きについて～これからの在宅保健師活動を考える～」というテーマでご講演して頂き、39府県に設置されている中で兵庫県の会員数は3番目に多いこと、国の方針は2040年を展望して、「誰もがより長く元気に活躍できる社会を目指す」こと、それには「健康寿命を延ばす」ことが課題であるが、特にポストコロナの今、つながり、支え合うことが強く求められており、地域をよく知っている保健師の活動に期待をされているとお話しいただきました。

グループワークでは、日ごろの活動や思いなどで盛り上がり、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深めていただき、瞬く間に時間も過ぎ、最後に参加者全員で記念撮影をし、事業を締めくくることが出来ました。

ふれあいの会は「職能としての経験と実績を生かし、地域の保健活動に寄与するとともに会員相互の連携と研鑽を図る」という、設立時の熱き想いを胸に会員同士の「つながり」を強め、思いを「ひろげ」「続ける」ことを願って歩んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたしますとともに、関係機関の皆様方のさらなるご指導、ご支援をお願いし、挨拶とさせていただきます。

## ● 設立20周年を祝して ●

### 兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）設立20周年を祝して

兵庫県保健医療部

健康増進課 課長 稲岡 由美子



兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）設立20周年、誠におめでとうございます。

また、平素より県民の健康福祉の向上にご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

保健師活動のコアである「みる」、「つなぐ」、「動かす」を実践し続けられ、今も変わらず熱心にご活躍されている皆さまに深く敬意を表します。

特に、令和2年3月1日に本県初の新型コロナウイルス感染症患者が発生して以降、健康福祉事務所（保健所）への応援派遣では、疫学調査や自宅療養者の健康観察など、患者本人や同居家族への療養指導にとどまらず、現場で奮闘している保健師にも心温まる励ましや助言、長丁場になることを予見した上での業務支援、後回しにしがちな保健師自身の健康面にも配慮することなど、現場で時間を共にしながら教えていただきました。

令和6年度から、第5次国民の健康づくり運動として、健康日本21（第三次）が始まります。人生100年時代を迎え、コロナ禍で生活様式が大きく変化し、特に高齢者は外出自粛による運動量の減少や体力低下、将来への不安や孤立など健康づくりに与えた影響も少なくありません。ポストコロナの今、私たち行政保健師に期待される役割は大きく、先輩の皆さまから受け継いだ「保健師魂」と、デジタルイノベーションをうまく融合させながら、保健師活動の醍醐味を次世代の保健師に伝承して参りたいと思います。

最後に会員の皆さまのご健勝と貴会の益々のご発展をこころからお祈り申し上げます。

### 兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）設立20周年を祝して

兵庫県国民健康保険団体連合会

専務理事 福田 庸二



兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）が、設立20周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

兵庫県在宅保健師の会は、少子高齢社会における保健活動の重要性を認識し、会員の豊かな経験と実績を生かして、地域の保健福祉活動に寄与するとともに、会員相互の連携と研鑽を図ることを目的に、平成14年に設立されました。

設立以来、会を支え発展に導いていただきました歴代会長をはじめ、役員並びに会員の皆様のたゆまぬご尽力に対し、衷心より敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、社会での人の動きも活発になる中で、会員の皆様におかれましては、地域住民の身近な相談者・助言者として、生活習慣病重症化予防、介護予防活動等の市町保健事業に多大なるご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。

皆様の豊富な保健師経験を活かした市町保健師等へのご支援、ご協力は、地域づくり及び健康づくり活動にとって大変心強い存在となっていることと存じます。

本会といたしましては、皆様の活動のお役に立てるよう、今後も情報提供や研修会の開催等の積極的な支援・協力をして参りたいと考えております。

最後に、長きにわたりこの会を支え、貢献されてきた皆様の活動を讃えると共に、兵庫県在宅保健師の会の益々の発展と皆様のご健勝・ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの挨拶とさせていただきます。

## ● 総会・研修会 ●

### 令和5年度兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）総会・研修会

令和5年5月26日、令和5年兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）総会・研修会を兵庫県国民健康保険団体連合会において開催した。

#### 【総会】（出席者：28名）

濱田会長からの挨拶のあと、兵庫県国民健康保険団体連合会入江事務局長、来賓兵庫県保健医療部健康増進課稲岡課長から挨拶があった。

議案事項として、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画についての議案審議が行われ、いずれも原案のとおり可決された。



#### 【研修会】（出席者：28名）

1. 講演：「兵庫県の保健師活動の現状」  
講師：兵庫県保健医療部健康増進課副課長 山下 久美 氏
2. 講演：「フレイル予防と社会活動の重要性」  
講師：兵庫県但馬県民局 但馬長寿の郷地域ケア課長 小森 昌彦 氏



山下副課長から、兵庫県内の保健師の活動体制と現任教育、母子保健における国の動向と県内の取り組み状況、兵庫県の健康増進施策、感染症対策について説明があった。小森地域ケア課長から、フレイルの調査からの現状と特徴、予防についての説明があり、フレイル予防には、社会とつながり、社会活動に参加していくことが特に重要であることを改めて理解できる内容であった。



#### 《会員の声》（アンケートより抜粋）

##### 講演Ⅰ

- ・時代の流れとともに新しく変わっていてその内容がよく分かった。
- ・新たな事業体制がわかりやすく、参考になりました。
- ・保健師の現状と人員増加による今後の活動がわかりやすかった。
- ・日頃あまり聞くことができない、見えないデータが示されてよかった。

##### 講演Ⅱ

- ・日常生活の中から、「なるほど、本当だ。」と思える内容が、楽しく学べてよかった。
- ・地域の方への伝達もできる内容のため、大変参考になった。
- ・自分自身を振り返り、生活や健康をチェックする大変良い機会になった。
- ・通いの場づくりを模索していたところであり、フレイル予防には社会活動が重要だということがよくわかった。

## ● 記念事業 ●

# 兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会） 設立20周年記念事業プログラム

令和5年10月20日、兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）設立20周年記念事業を兵庫県国民健康保険団体連合会において開催した。（出席者：36名）



### ◆開会あいさつ

兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）会長 濱田 和子 氏

本日の「兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）設立20周年記念事業」を開催できることをうれしく思います。これまでの20年間のあゆみを振り返り、交流を深め、今後の活動に向け共に考えていきましょう。



### ◆来賓あいさつ

兵庫県保健医療部健康増進課 課長 稲岡 由美子 氏

兵庫県国民健康保険団体連合会 専務理事 福田 庸二 氏

20周年を迎え、祝辞並びに今後の会の発展を祈念する挨拶をいただいた。

### ◆記念講演

演題：保健事業を取巻く動きについて

～これからの在宅保健師活動を考える～

講師：国民健康保険中央会 保健事業担当専門幹 三好 ゆかり 氏

「これからの在宅保健師活動を考える」というテーマについて、どうあるべきかを講義いただいた。

会員一人ひとりが興味をもち自分ごととして捉えていくこと、現役保健師との連携、全国の在宅保健師活動の状況について、国の動向を踏まえた充実した内容であり、今後の活動に向けて活用できる有意義なものであった。



## ◆20年間の活動報告

1 事業説明 兵庫県国民健康保険団体連合会 事務局

2 設立～設立10年の活動報告 日下 安子 氏

兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）設立当初ご尽力いただいた日下氏からのお話があった。設立の原点を思い起こし、今後の研鑽に繋げていこうという思いを一人ひとりが新たにした。



3 設立11年～設立20年の活動報告 宮崎 博美 氏

活動報告のスライドから、健康劇や会員交流会等の活動を続けてきた会員や住民が楽しんで活動している様子が生き生きと伝わってきた。



4 初代会長 池脇 政子 氏からのお手紙

(代読 会長 濱田 和子 氏)

初代会長 池脇氏の保健師魂がこもった熱いお手紙に、会員は聞き入っていた。

## ◆会員交流会

7つのグループにわかれて「これからの在宅保健師活動について考える」というテーマで話し合った。普段交流を図ることがなかなかできない地域の会員同士、話は尽きなかった。講師の三好ゆかり氏もグループに入っていたら、会員の声に耳を傾けられていた。



### 《会員の声》（記録より抜粋）

#### 〈保健師活動について〉

- ・今回のように、つながりの意味の大切さを発信していきたい。
- ・デジタル化時代、待っているだけではなく自分から情報を得て行動することが必要。

#### 〈会員交流会の感想〉

- ・在宅保健師の会の会員の熱い思いを再確認しました。このパワーをもって、地域に活用していかないともったいない。
- ・築き上げてきた20年間の活動は素晴らしいものだ再確認できた。今後も活発に活動していきたい。
- ・他ブロックの方との交流が出来て地域によりそれぞれの活動が聞けて良かった。

## ◆閉会あいさつ

兵庫県在宅保健師の会 副会長 桑田 美恵子 氏

今日、このようにして記念事業が無事に行われたことに感謝します。自分たちに何が出来るかを常に考え、継続することが大切です。今後も前向きに取り組んでいきましょう。



● 兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）20年間のあゆみ① ●

事業名		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
役員会・総会	総会		→											
	役員会	■	→											
研修	視察研修	■	■											
	他県からの訪問研修						■							
	総会時の研修会	■	→											
	ブロック別研修会			■					■			■		
	専門研修会						■							
	特定健診等研修会							■						
	健康劇						→							
事業	元気はつらつ教室 (転倒・認知症予防教室)		→											
	ゆとろぎの湯 健康相談 (豊岡市日高町)				■	■	→							
	はつらつの湯 健康相談 (たつの市)			■	■	→								
	ブロック交流会								→					
	国保連合会事業等への支援	高齢者家庭訪問事業 (豊岡市竹野町)			■									
		重複・頻回受診者への家庭訪問 (伊丹市、相生市、猪名川町、上郡町、加東市)						■						
		糖尿病要指導者訪問指導事業 (高砂市)						■						
在宅保健師の訪問活動による 保健指導事業(市川町)							■							
健康増進啓発事業 (骨量測定後の健康相談)					→									
特定健診未受診者対策等支援事業											→			
広報等		会報		→										
	入会のおすすめリーフレット								→					
	会員の活動調査		→											

活動風景



認知症予防教室



ブロック研修



はつらつの湯  
健康相談



特定健診未受診者  
対策等支援事業



ブロック交流会



元気はつらつ教室

● 兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）20年間のあゆみ② ●

事業		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2*	R3*	R4	R5		
役員会・総会	総会	→								書面開催	→			
	役員会	→								書面開催	→			
研修	視察研修													
	他県からの訪問研修													
	総会時の研修会	→								見合わせ	→			
	第2回研修会（旧ブロック別研修会）	→								見合わせ	→			
	専門研修会													
	特定健診等研修会	→												
事業	健康劇	→								見合わせ	→			
	元気はつらつ教室 （転倒・認知症予防教室）	→												
	ゆとろぎの湯 健康相談 （豊岡市日高町）													
	はつらつの湯 健康相談 （たつの市）	→												
	ブロック交流会	→								見合わせ	→			
	国保連合会事業等への支援	高齢者家庭訪問事業 （豊岡市竹野町）												
重複・頻回受診者への家庭訪問 （伊丹市、相生市、猪名川町、上郡町、加東市）														
糖尿病要指導者訪問指導事業 （高砂市）														
在宅保健師の訪問活動による 保健指導事業（市川町）														
健康増進啓発事業 （骨量測定後の健康相談）														
特定健診未受診者対策等支援事業		→								見合わせ	→			
広報等		会報	→								見合わせ	→		
		入会のおすすめリーフレット	→											
	会員の活動調査	→												

\*R2、R3は新型コロナウイルス感染症による事業見合わせ

活動風景



健康劇



総会



研修会



会報誌



入会のご案内

● 兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）20年間のあゆみ 研修会等 ●

年度	研修会区分	研修テーマ	講師（敬称略）
H13	在宅保健婦等研修会	保健指導とは - 専門性の原点を求めて	岡山大学名誉教授 青山 英康
		保健婦活動の動向と在宅保健婦に期待するもの	兵庫県健康増進課 濱口 清子
H14	設立総会	これからの看護・在宅保健師に期待するもの	兵庫県立看護大学 南 裕子
		国保事業から在宅保健師に期待するもの	国民健康保険中央会 生田 恵子
H15	総会	健康・長寿は毎日の食生活から	京都大学名誉教授 家森 幸男
	ブロック別	いきいき生きる	在宅保健師の会 池脇 政子
H16	総会	健康づくりのキーワード 筋肉鍛えて血液をさらさらに！ 活動事例報告	兵庫県健康財団 河村 剛史 在宅保健師の会 会員 3 名
	ブロック別	高齢者の日常生活機能の向上を目指して	兵庫県但馬長寿の郷 備酒 伸彦
H17	総会	認知症のよりよい理解のために	大阪大学大学院医学系研究科 工藤 喬
	ブロック別	認知症予防・介護予防に役立つレクリエーション	生活介護研究所 福野 初夫
H18	総会	内臓脂肪症候群と生活習慣病	兵庫県健康財団 大藪 久則
		介護保険制度改正について	兵庫県介護保険課 松下 清美
	専門研修会	糖尿病の予防と治療の進め方	宝塚市国民健康保険診療所 池田 薫
		糖尿病予防のための食生活 健康維持増進のための運動プログラムの理論と実際	兵庫県立こども病院 下浦 佳之 兵庫県健康財団 亀澤 徹郎
H19	総会	医療制度改革と保健事業について	国民健康保険中央会 三好ゆかり
	特定健診等に関する研修会	標準的な健診・保健指導プログラムについて 事例発表	兵庫県健康増進課 谷川さだ子 在宅保健師の会 会員 2 名
	専門研修会	生活習慣を変えるために何をすべきか（講義） 行動変容につながる保健指導（演習）	武庫川女子大学 内藤 義彦 武庫川女子大学 内藤 義彦
H20	総会	高知県在宅保健師活動者なでしこの会の活動内容について	高知県在宅保健師活動者なでしこの会 吉岡喜代江
	ブロック別	高齢者の健康（講義・実技）	兵庫県健康財団 山口 一仁
		高齢者の食の安心・安全について	元兵庫県食品衛生監視員 野口 智三
		都道府県在宅保健師等の会研修会報告	在宅保健師の会 会員 2 名
特定健診等に関する研修会（京都）	効果的な保健指導のために 保健事業の推進のために	大阪ガス健康開発センター 岡田 邦夫 国民健康保険中央会 田中 一哉	
H21	総会	今、保健師として守るべき専門性	国立保健医療科学院 中板 育美
	特定健診等に関する研修会（京都）	糖尿病の病態について	中石医院 中石 滋雄
		保健指導のスキルアップ	京都医療センター 同道 正行
	ブロック別	ジェネリック医薬品	兵庫県薬剤師会 山名 登
H22	総会	笑って、心いきいき 提言：私の考える在宅保健師の会・グループワーク	大阪大学大学院医学系研究科 大平 哲也 現職保健師・在保会員 (近畿ブロック)
		健康食品（サプリメント）の今日この頃 兵庫県内の保健師活動の状況	武庫川女子大学 松浦 寿喜 兵庫県健康増進課 松下 清美



● 兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）20年間のあゆみ 研修会等 ●

年度	研修会区分	研修テーマ	講師（敬称略）
H23	総会	ロコモティブシンドロームについて 兵庫県内の保健師活動の状況	神戸常盤大学 柳本 有二 兵庫県健康増進課 松下 清美
	ブロック別	笑いヨガと健康（講義・実技）	日本笑いヨガ協会 高田 佳子
H24	総会・研修会	最新の認知症治療と予防のための日常生活 兵庫県内の保健師活動の状況	兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 柿木 達也 兵庫県健康増進課 松下 清美
	10周年記念行事	これからの在宅保健師活動について	都道府県在宅保健師等全国連絡会 池田 信子
H25	総会・研修会	最新の健康情報一健やかに生きるために一 兵庫県内の保健師活動の状況	総合医療研究所 金 華洙 兵庫県健康増進課 松下 清美
	第2回	認知症の方への対応ーバリエーションについてー	関西福祉科学大学社会福祉学部 都村 尚子
H26	総会・研修会	パパの子育て・家族の子育て ～みんなで子育て考えよう～ 兵庫県内の保健師活動の状況	大阪教育大学教育学部 小崎 恭弘 兵庫県健康増進課 藤原恵美子
	第2回	長生きと若さの秘訣は眠りにあり ～睡眠健康相談のために～	滋賀医科大学睡眠学講座 宮崎総一郎
H27	総会・研修会	超高齢社会におけるサクセスフルエイジングへの道筋 ～からだところの健康長寿をめざして～ 兵庫県内の保健師活動の状況	大阪大学大学院 人間科学研究科 榎藤 恭之 兵庫県健康増進課 藤原恵美子
	第2回	若年性認知症とその支援 あんしんすこやかセンターでの取り組みについて（報告）	ひょうご若年性認知症生活支援相談センター 清水美代子 本山西部あんしん 松田 順子 すこやかセンター 植田 昌美
H28	総会・研修会	診療の場面で考えること ～認知症の予防、早期診断そしてかわり方～ 兵庫県内の保健師活動の状況	兵庫県立姫路循環器 寺島 明 病センター 大谷真理子
	第2回	兵庫県の歯科口腔保健に関する取り組みについて 健"口"長寿をめざして～ライフステージに沿った予防について～ 口腔ケアの実践	兵庫県健康増進課 大西 菜摘 梅村歯科医院 梅村 智 公益社団法人兵庫県歯科衛生士会 江尻 真美
H29	総会・研修会	認知症予防体操の理論と実践 兵庫県内の保健師活動の状況	兵庫県但馬長寿の郷 小森 昌彦 中野 裕貴 兵庫県健康増進課 大谷真理子
	第2回	健康食品等の最近の動向 ～保健指導にいかすために～	武庫川女子大学 松浦 寿喜
H30	総会・研修会	糖尿病の予防と最新の治療について 兵庫県内の保健師活動の状況	兵庫医療大学 勝野 朋幸 兵庫県健康増進課 谷川さだ子
	第2回	「時間栄養学」を地域での保健指導に活かすために	兵庫県立大学 永井 成美
R1	総会・研修会	あなたにできる運動支援 兵庫県内の保健師活動の状況	有限会社ヒューマンモア 松井 浩 兵庫県健康増進課 谷川さだ子
	第2回	健康長寿は飲みこみ力で決まる！	嚥下トレーニング協会 浦長瀬昌宏
R2	総会(書面開催)	令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画	兵庫県国保連合会 書 面
R3	総会・研修会 (書面開催)	「新型コロナウイルス感染症」高齢者として気をつけた いポイント（資料送付） フレイル予防プログラム普及冊子（資料送付）	日本老年医学会作成リーフレット 兵庫県健康増進課作成リーフレット
R4	総会・研修会	コロナ禍におけるロコモ・フレイルの現状とその対策 ※DVD収録講演を視聴 兵庫県内の保健師活動の状況	国立長寿医療研究センター 荒井 秀典 兵庫県健康増進課 山下 久美
	第2回	上手に付き合おうー高齢者の健康食品と薬ー	武庫川女子大学 松浦 寿喜
R5	総会・研修会	兵庫県内の保健師活動の状況 フレイル予防と社会活動の重要性	兵庫県健康増進課 山下 久美 兵庫県但馬県民局但馬長寿の郷 小森 昌彦
	20周年記念行事	これからの在宅保健師活動について	国民健康保険中央会 三好ゆかり

※「保健師」の名称表記については、法改正に基づいた表記としております。

## ●会員だより●

### 【兵庫県在宅保健師会20周年を迎えて】



#### 私の保健師活動をふりかえる

初代会長

池 脇 政 子 (淡路ブロック)

兵庫県在宅保健師の会が20周年を迎えられ、当時の会報誌をひもときながら、当時を懐かしく振り返っています。連合会の日下安子さんには設立準備、全国会組織との諸連絡・研修会など行き届いたお世話をいただき、現在があることを生涯忘れることができません。私も微力ながら皆様方のご協力を賜り、現在も地域で保健師活動を続け、通算70年になります。悲喜こもごもの活動が走馬灯の如く脳裏をかけめぐります。専門職として、常に住人と共に歩み、共に支え合いながら精一杯生きてきました。

昭和48年ヨーロッパ7か国視察研修に参加し、外国では成人高齢者への先進的な各種取組がなされており、帰国後その学びを生かし各機関と連携し、活動の幅を広げました。また、当時理学療法士のマンパワー不足状況を県に報告し、各市町保健師がリハビリテーションセンターで研修を受講し、介入を行いました。自立に向け、運動を継続していくことの大切さを本人・家族にも理解され、感謝の言葉も数多く聞かれました。兵庫県在宅保健師の会設立後には、健康教育の一環として健康劇や健康教育に取り組みました。健康劇では、最初は脚本・演技指導も行いましたが、次第に地域住民が地域の問題を取り上げ、方言も衣装も地域にとけ込み親近感のある劇と成長したことはとても誇らしい思いです。

保健師活動で大切なのは「やる気」「心を動かす」ことで、何事も「心」に「体」がついてくるものです。そして取得した「保健師免許」を「活かす」ことです。皆様方のご健康とご多幸を、会の益々のご発展をお祈り申し上げます。



#### 在宅保健師の会設立までの思い出

日 下 安 子 (神戸ブロック)

このたび設立20周年を迎えられ、当時、設立に向けての苦労等は忘却の域となりましたが思い出す努力をしました。この会の発足の経緯が、ささやかでも今後の活動につながればと思っています。

昭和36年、国民皆保険制度が発足し、市町勤務の保健師は国保保健師に位置づけられました。県国保課には指導保健師が配置され、大先輩と共に私も勤務することになりました。その後、医務課看護係に移り、この経験が助けとなり、在保の会の設立に向けて、県・市町退職保健師への会員呼びかけにも大いに活かすことができました。

平成11年から国保連合会にて保健事業専門員として勤務して間もなく、国保財政健全化と被保険者へのヘルスサービスの一環として、国保中央会より「在宅保健師の会設立」の意向が示されました。不安ながらも「優県兵庫だ！やるしかない！」と心に決めました。会設立により、県、市町、企業等経験豊かな保健師が地域活動と共に横につながり、活動の幅も広がり、研修会で共に学ぶ機会も得られると思いました。

設立に向け、一番の原動力は、当時の国保連合会の担当課長・職員が、設立までの意見交換会・諸作業や会長・副会長・地区幹事の人選等を全て受け入れ、依頼訪問も同行していただけたことです。熟慮したことは、県の8地区から、県、市町経験者を1人ずつ代表者に選ぶことと、市町国保への支援が柱となるため会長は市町経験者(淡路)、副会長に県保健所経験者(西播磨、但馬)とする人選でした。

更に気をつかったのは、会の設立の柱「設立趣意書」、「会則」の文章化でした。皆様のご理解ご協力にて、無事設立総会を開催、その後は地域の特色を活かした健康相談や健康劇、家庭訪問、地域別学習会等仲間づくりをしながら活躍されているところです。

## ●会員だより●

### 【設立当初からの会員からの声】



#### 健康劇の思い出

有 田 克 子 (東播ブロック)

幹事会において、初代会長より「東播地区は健康劇が未実施です。」と助言を受け、幹事はすぐに会員との協議を始めた。しかし、「ええー！どこで、誰がするの！」と、会員の意見がまとまらず、幹事の体調は決して良好とはいえない中、会場や対象者を検討し、社協と交渉する等先頭に立って動かれ、その姿に押される形で会員も活動を開始した。

私たちは、市町保健師協議会や民生委員に声掛けし、会長は県老人クラブにおいて健康劇のPRをした。その結果、老人クラブ2会場と民生委員研修会、そして高砂市は市の事業として健康フェアにおいて健康劇を依頼されることとなった。その時、私たちには一遍して緊張が走ったのを覚えている。会場が決まり、私たちと団体などで調整を行った。テーマを『認知症予防』とし、配役として3～4人を団体に出演依頼した。シナリオ作成には、播州弁を使うなどワイワイガヤガヤと打合せをし、全体練習は2～3回で当日を迎えた。各会場ともに80人前後の聴衆が集まる盛況ぶりであった。

一番驚いたことは各団体からの出演者の演技力だった。私たちはセリフを忘れてしまい、アドリブが多すぎて会場の笑いを誘った。最後は会場全体で歌体操。「理論より笑いあり、体を動かすことの大切さ、演者の一生懸命の姿を観て勇気とやる気をもらった。明日から近所の人と散歩します。」との声も聞こえたのを今でも覚えている。住民参加の健康劇は、まさに生きた健康教育の証であった。



#### 特定健診未受診者の受診勧奨について

高 田 緑 (北播ブロック)

私がこの業務に従事したのは何年前だったのでしょうか。当時実務から離れており、なんとも言えない不安がある中、ときめきがあったことを鮮明に覚えています。

そして、ドキドキしながら依頼のあった市町の担当の方から「この部屋で…」「この台帳で…」「この電話で…」等の説明を受けました。そして特定健診の未受診の方を想像しながら電話と向かい合ったものです。

いざ電話をすると、「こんなに忙しいのに健診に行く時間がないだろ！」「自分のことは自分が一番わかっているから！」と、そっけなく言われたこともありました。中には「わざわざご丁寧に心配してもらいありがとうございます。何年か健診を受けていないから今年は受けにいきます。」といったうれしい内容の声も多々ありました。

健康管理を行う上で、体重や血圧は誰もが自分の目で確認し、その値を見て一喜一憂することができます。しかし、特定健診は、全身の状態・血液の状態を総合的に見るのが可能です。そして、経年比較しながらデータを見ることにより、何年後の健康状態を予測することができます。時間を気にしないで、今と何年後の姿を感じていただけるような前向きな電話勧奨を行うことができれば…と思ったものです。

会話の向こうの相手の方がどんな表情をされているのかわからないけれど、一本の電話が健康のことを、身体のことを少しでも考えてもらえるきっかけになれば、と願いました。

今思えば大変な業務ではありましたが、貴重な機会をいただき感謝しております。

## ●会員だより●



### 但馬ブロック交流会の取り組みについて

ふれあいの会 会長  
濱田 和子 (但馬ブロック)

但馬ブロック交流会は、地域の範囲が広く、なかなか会員が集まり情報交換などの交流を図ることが出来ませんでした。交流会を始めたきっかけは地域の色々な集まりの中で、老人の介護や認知症について、話題がよく出てくるということを知ったことです。

すでに県下のブロックで、このようなことをテーマにした劇により健康教育を実施され好評であるということを知り、市町の保健福祉の担当部署に働きかけ、取り組むこととなりました。

地域の方々にも参加してもらうことにより、健康教育としての効果も実感出来るとともに会員が顔を合わせるきっかけづくりもできました。時には昼食を共にしながら、なかなか参加しにくい総会・研修会などの報告も行い、ふれあいの会活動の情報を共有することも出来ました。

会員が顔を合わせることによって、より一層つながりが深まり、ふれあいの会の活動を身近に感じてもらえた交流会であったと思っています。

## ●叙勲受章者紹介●

### 高齢者叙勲(瑞宝双光章)を受章して

美野 喜美穂 (阪神ブロック)



私は昨年7月米寿を迎え、令和4年8月1日発令の高齢者叙勲に際し、はからずも瑞宝双光章の榮に浴しました。この栄誉は、長年に亘り、保健師はじめ共に働いた皆様の心温かいご指導ご支援の賜と感謝申し上げます。

現役時代は主に看護行政・看護教育に従事し最後の勤務先は厚生専門学院でした。退職を寸前に阪神淡路大震災により通学生1名の犠牲、寄宿舎の全壊判定、教育備品の破壊等甚大な被害を受けました。日常業務の復旧に向けて職員一同力を出し合い、必死に取り組みました。

退職後は高齢者支援のボランティア活動を続け、人生の先輩方から多くを学ばせていただきながら私も歳を重ねています。

### 瑞宝単光章を受章して

小畑 美由紀 (但馬ブロック)



この度は、身に余る章を賜り非常に光栄に存じます。

私は、昭和55年に養父郡大屋町役場に入職し、合併により養父市の保健師として約40年間、住民の皆様の健康づくりに努めてまいりました。

地域に出て個を知り地域全体をみることを基本とし、関係機関や組織とつながりをもって事業を展開しながら、先進的な取り組みにもチャレンジしてきました。

笑顔と元気をモットーに勤務し、多くの皆様に支えていただいたの受章であり、一緒に働いた仲間や支えてくださった方々へ心より深く感謝いたします。ありがとうございました。これからも笑顔あふれる日々を目指して、感謝の心をもって地域貢献していきたいと思っています。

## ●活動報告●



### 東播ブロック活動報告

幹事  
有馬富子（東播ブロック）

新型コロナウイルス感染症のため、令和元年から令和3年の3年間ブロックの活動がなかなかできませんでした。会員同士の情報も、お互い知ることなく過ぎていましたので、第8波が落ち着くまで、情報交換として会員の近況報告や研修会の報告を郵送いたしました。

令和5年の3月になり、新型コロナウイルス感染症も季節性インフルエンザ同様に5類分類になるとわかり、対面による昼食会を兼ねた情報交換会を高砂市で行いました。参加者は10名でしたが、顔を合わすと積もる話と笑顔溢れる情報交換に2時間があっという間に過ぎました。

皆様、やはり専門職として地域活動に参加したり、行政のお手伝いなど元気いっぱい活動されていました。まだまだ感染予防に気を付けてお互い頑張りましょうと声をかけあい散会となりました。

これからは少し対面での会もしやすくなりますので、次年度は施設見学などほしいとのご意見もありました。今後ますますブロック会員皆様が元気に活躍できるようにブロック活動を行っていききたいと思います。



### 保健師OG会の情報交換会(拡大交流会)を開催して

幹事  
米田静子（淡路ブロック）

会員の減少、高齢化、コロナ禍による活動の停滞に焦りを感じていました。そんな時、会員より、保健師退職者の会（OG会）での情報交換会をしてはどうかと発案があり、会員ではない方も含めた拡大交流会を開催することになりました。

令和4年12月17日（土）11：00～14：30、参加者は13人（会員4人含む）でした。

拡大交流会において、会員以外の保健師の方々に向けて、在宅保健師の会について、ふれあいの会の会報配付や研修会の資料の回覧、淡路ブロックの現状を話しました。

話題の中心は情報交換でした。お食事を頂きながら、終始和やかに会は進行しました。既にチームを組んで活動されている方もあり、久しぶりにお会いする方は少ないようでした。

現役時代に取り組まれていた地域の課題に対して、さらに密着した活動を展開されている現状をお話される姿がありました。生き生きと話される笑顔を見て、「3分間のスピーチでは短かすぎる、もっと深く知りたい」と思いました。また、スピーチの中から、家庭的にも多様な立場にあること、ご自身の健康問題なども知ることができました。

今回の交流会により、地域に密着した活動を展開するためには、あらゆる分野の人々との連携が必須であることを強く感じました。会の後、4人の入会があり、淡路ブロックの会員数は5名から9名となりました。

今後共、情報交換を深め活動していきたいと思えます。



# ● 令和4年度兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）活動状況調査 ●

令和5年2月実施

調査対象者：158人

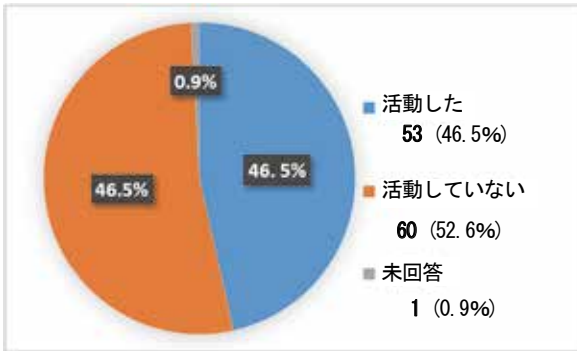
回答者：114人

回答率：72.2%

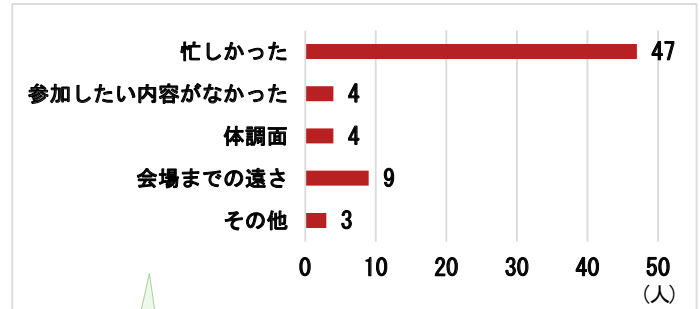
## 令和4年度の会員の活動状況について

### ① 「在宅保健師の会」の活動について

#### ①-1 活動の有無 n=114



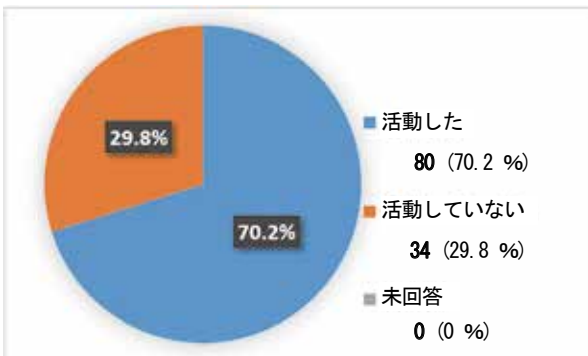
#### ①-2 活動しなかった理由(複数回答可)n=60



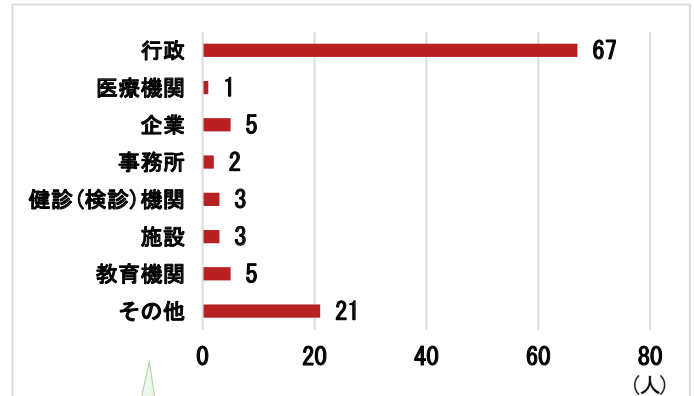
忙しかった理由は、仕事、家事、育児介護 など

### ② 「在宅保健師の会」以外での活動について

#### ②-1 活動の有無 n=114

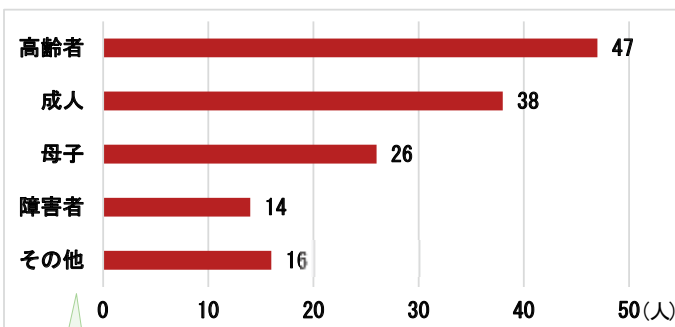


#### ②-2 活動場所(複数回答可)n=80



その他は、医療生協、電話による自殺対策及び心の支援、地域の老人会、社会福祉協議会、まちの保健室 など

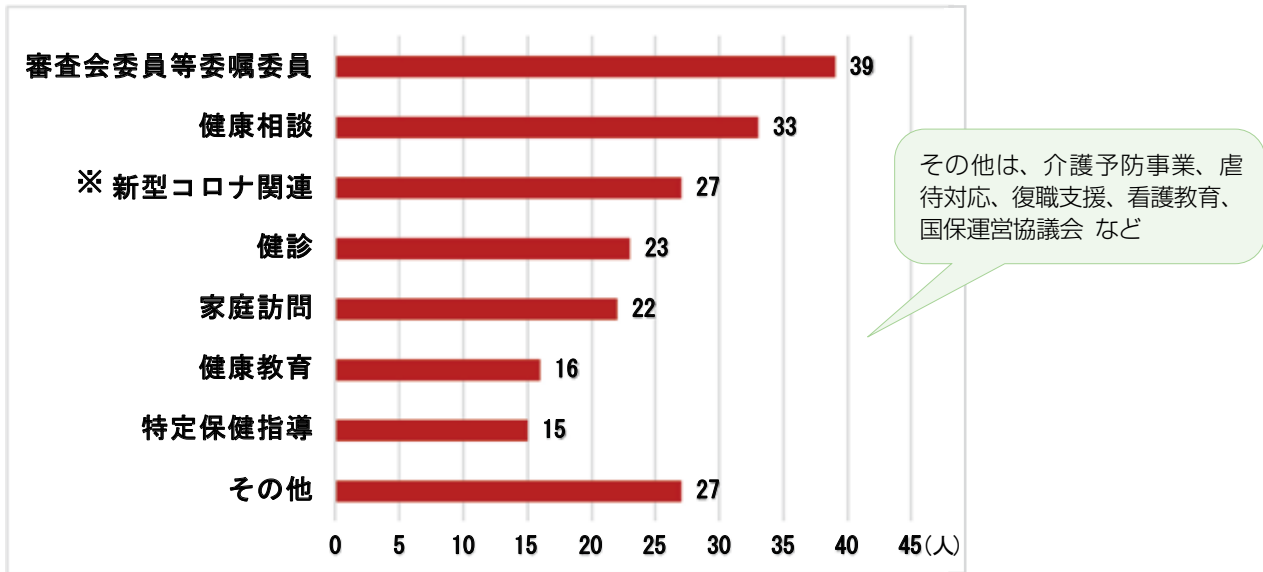
#### ②-3 活動分野(複数回答可)n=80



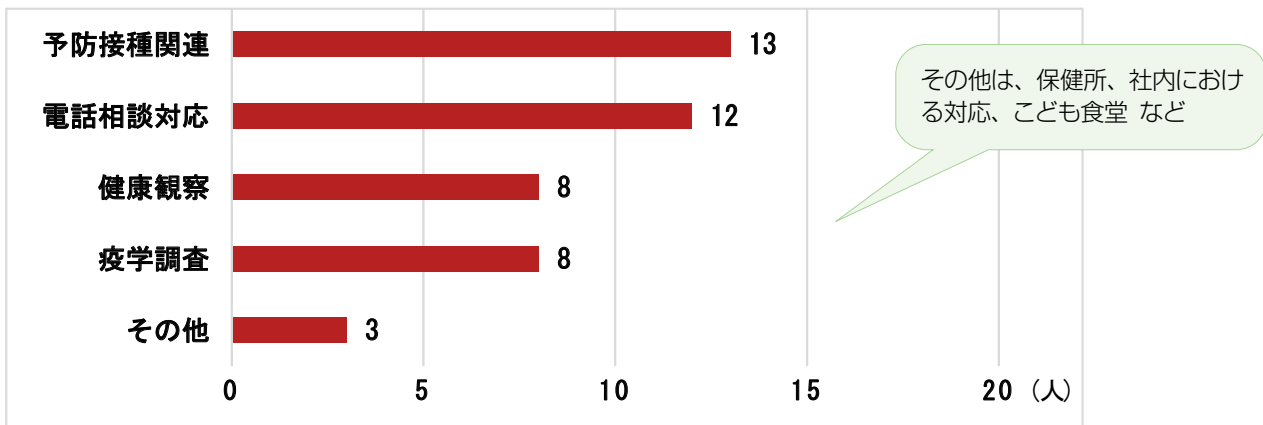
その他は、感染症、児童福祉、公衆衛生全般、看護学校 など

## ● 令和4年度兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）活動状況調査 ●

②-4 活動内容(複数回答可)n=80



②-5 ②-4の ※新型コロナ関連業務内訳(複数回答可)n=27

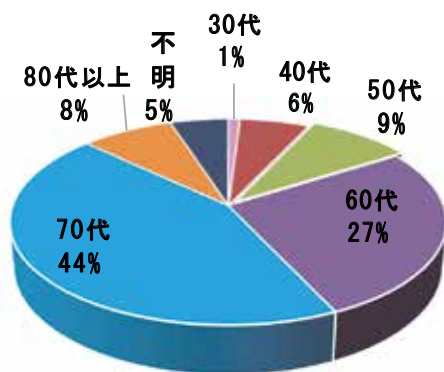


### ふれあいの会への意見など

- ・研修会の資料等送付いただきありがとうございます。新しい知識を得る機会が少ない中で、大変参考にさせて頂いております。
- ・設立20周年おめでとうございます。初代始め代々の会長さん、役員さん、そして事務局の方々の尽力で迎えることが出来たとおもいます。これからも長く続いていくことを願っています。記念行事も楽しみにしています。
- ・遠方(神戸)にまでいけない会員も(私も含めてですが)、コロナ禍で集まれなかった方々と久々にブロック交流会で出会えてよかったです。

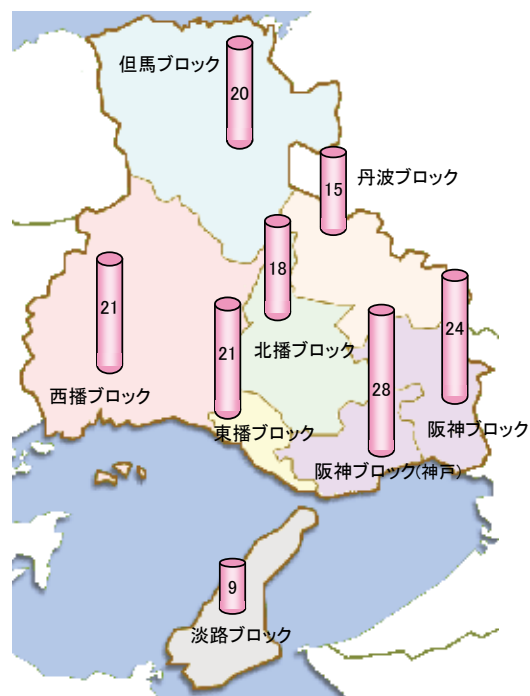
## ● 令和5年度会員の状況 ●

<年齢構成>



会員数156人  
※令和5年8月1日現在

<地区別会員数>



## 令和5年度役員紹介

会 長	濱 田 和 子	副 会 長	桑 田 美 恵 子 (西播ブロック)
副 会 長	寒 者 恵 (北播ブロック)	幹 事	山 吹 ま ゆ み (阪神ブロック)
幹 事	小 山 初 美 (阪神ブロック)		西 垣 悦 代 (但馬ブロック)
	有 馬 富 子 (東播ブロック)		石 塚 ひ と み (丹波ブロック)
	石 橋 容 子 (但馬ブロック)	常 任 幹 事	宮 崎 博 美
	米 田 静 子 (淡路ブロック)		

会員の皆さま、どうぞよろしく申し上げます。

### ● ● 事務局紹介 ● ●

どうぞよろしくお願ひいたします。



<下段左から>  
宗課長補佐、松本保険者  
支援部長、入江事務局長、  
岩路事業課長

<上段左から>  
松田主任、濱岡主事、中田  
主事、内田主査、芦田主査

### 編集後記

会報(20周年記念号)を発行するにあたり、会員の皆様、関係者の方々の多大なご協力をいただき厚くお礼申し上げます。微力ですが会報作りを続けて頑張っていきたいと思っています。会員の皆様からの原稿、活動報告等をお待ちしております。

【会報委員】 有馬富子、寒者恵、  
桑田美恵子、宮崎博美